

紙風船

⑪

山川博康

川柳・短歌

作品集

令和六年 五月

『二刀流』 もうやめまする ジャパニーズ

次々と 渦中の人 は 蝸牛 (かたつむり)

即物と 視覚効果と イメージで

霧の摩周湖 なんの事案だ

朱入れはさ 私人ノルマに 乗るマンデー

掛け布団　5センチ長め　売れんかな

ハレテイル　ドンゲリマナコ　ナラマブシ

2軍への　条件整備　なぜ急ぐ

選手防衛　専守防衛

政府への　異議申立て　自警団

すぐできる国　一体全体

ワシントン　横田からとか　言っっちゃダメ

青雲に キノコ雲みて そっちかい
御巢鷹の尾根 プールと読書

勲章を カーチスルメイ ビルゲイツ
そんな政府に なぜ全幅を

スイセンと 熊に気をつけ 鈴の音か

憲法も 私情と市場 なんだっけ

お向かいと 同一でない 音鳴りて
知らん地域じゃ なくて此処なり

チャイナ製 現地のほうが 安いわな
それが毘なら 日本で作ろ

念力で 快走するか 停まるのか
それはあれやん あれはそれやん

なんでもや ハトトリックに なるならん

かえるかな 料亭の味 あわせかな

風吹けど アポイキキヨウは しなやかに
最後の一片 まだ早いつて

ノンアルに アテはいるのか ハイチーズ

「光る君」 いつ見返すの 神南よ

「へ」が抜けて 減点だから 裏口で

パブコメも マイナンバーと 紐づけか
匿名で済む 今のうちだべ

雨降りに ベランダ躊躇 さあ蹲（つくばい）
つくばみらい市 そりや違うわさ

お役所と 業者に言わず 鉢回る
相談業務 やるとこないよ

寒水で 冠水なるか ビニール葉

苔よりも コケないように 脚下みる

夢洲は 何度も旨味 やめられん

道理なき 力の支配 いつまでか

新月に 鎮静作用 雨なるか

花よ咲け 袖の下より 苔に水

風潮と 符牒を忘れ られんわな

ゆうメール 土曜日曜 月曜日

ポイントと 日数睨む 小賢しさ

西馬込 緑道あった タイル風呂

赤ら顔 注いで注がれて 社交術

月と火と 水と木舟と 金華山

朝刊で 鵜飼開きを 知る多数

真間駅が ママ駅になり 川の名は

川の事故 予防カメラでズームイン
顔認証で 安全平和

人権を 私権にすれば 楽勝だ

市川は 川の名前か ウソホント
探せばあると 筋違いたち

なんだっけ イタチごっこで 日が暮れる

その線で 非人にしよう 好都合

責めるなら タレント使い お仕置きだ

理詰めより 利益と情と みんな主義

フルコース 鉛筆なめず タップタップ

使途不明 なんて断言 できるのか

食べて寝て 子孫繁栄 なぜむずい

高度な社会 自己責任で

鵜と鮎を 避けたら河童 海水は

いざ早変わり 海老で雨中へ

タイ子さん たいやきくんと お台場で
ニアミスしてる すわ陣地とり

中曾根の ツケが溜池 達磨さん
仕方ないやん 知らんやんてさ

機密とか 秘密共有 蜜の味
甘くないない 砂を噛んだり

ぺんてるの 絵具もろうた いつの日か

高島屋 バラの広場は すでにない

春日から 「バリ」を教わる 夜となり
シェフもメイドも いない一室

倫理では 引き返せない とこっぽい
飽きるのを待つ 黒松と草

闘争の 語感すぐ立つ 自然人

そこじゃない 根本をだね 土の中

アブラムシ ニーム希釈を シュシュツとな

鉢植えが 倒れてたので 立て直し

快不快 利害得失 違うもの

世にも人にも あるのである

軸ならば ブレずにそよぐ ぐらいかな

オープンに 並ばないけど 見てみたい

仰ぎ見る ビルの高さと どんぐりよ

三菱と イオン系列 だけですか
ウォルマートも 知らずに生きる

川上に 感情移入 大成功
消費者よりも スポンサーさま

類似とか 波及するなら なおさらに
流されまいと 水やりしなきや

水差しで 飲んで甘言 弄してね
えっともうすぐ 午後の会議が

誰やねん あとで入力 増えちゃった
記録作業に 負荷と付加とか

大きめの 南天の葉 切っというた
それでええじゃろ なぜかそうなる

洗ったり 掃除できたり 走ったり

出張の 経費で落とす タベミカコ
ヨコザワナツコ 相関図揉み

リニアへの 工作資金 掘っちやダメ

特殊化を 広げ続けた マスメディア
やめるべきでも 利益と保身

おまゆうの 材料撒いて 犬笛と
陰に陽での 風圧装置

プライドを 構造でなく 個人間
変わらないのか 日本村ゆえ

紀尾井町 また気負います 勝ち負けか

安倍氏でしょ バックアップを してたのは
残念ながら でもスキームか

検索を 何でするのか グーグルよ

グーグルじゃ なくて楽天 検索で

ドラマでは 死ぬの生きるの 腕振るう

ワクチンを 腕に接種で 世を去った
知り合いの子 美咲ちゃん母

比喩暗喩 たとえばなしに ご用心

いいやんか 言葉遊びで ネタになり

軽々と 電波で置換 停波なし

市川の 梨よりやっぱ 山之上

憲法の 移動の自由 どっか行き

苔が生え 梅が落果で 吉凶か

わたくしが 満足しても 新世界

中東の 油タンカー 護衛艦

派兵しなかん ホントかうソか

デカすぎる 話題にすれば わかり良い

刑事(デカ)はやっぱり 愛川欽也

ネスカフェを 深追いすると 味気ない
赤いカップが 実家あったし

フエイマスと 大手メディアの 意に浴えと
ご都合主義に 煮ても焼いても

フエイマスと 大手メディアの 意に浴えと
ご都合主義に 似ても妬いても

元氣かな 卒業出来りや 御の字で

映画「学校」 教師と語り

今だけに とらわれすぎず なんだろな

欽ちゃんね ちゃん付けで良い フェイマスで
はいひとくくり 猿の反省

プラレール 靴じゃないって てってけて

イスラエル 靴の菓子出す 無礼あり
残虐非道 いつまで支持か

ガザ地区と 関係ないさ 使い分け
紙ストローで 映える 映えない

メタファーを 利用されるか ルシファーに

落果物 探偵団と 創作か

六角精児 役名えっと

いつぞやの 強風倒れ なんか変

大河とは 一滴たりも 無関係

管理下に 入れたがるのが 無茶こわい

中宮の 兄じゃないもん 下宮に
通った先祖 いたのは事実

内密で 独身貴族 なれんかな
利用者さんは どっちなんだい

焼肉の 南大門へ 行くパターン

大門の エスカレーター 今昔

局越えて 米倉涼子 オペ室へ

ズバーンとメロン 桐の摩周湖

月はどこ ルビーモレノは 今いずこ

言いすぎ度 プラスマイナス NとS

岩橋さんは お元気ですか

ピポパポピ 陽水さんの 声消して

平成なって 格差拡大

夢の中 侵入されず どんのかな

もしかして けっこう読まれ 届いてる？
世にも奇妙な シナリオどこで

三島には 湧水あって 鹿もいた

それならそれで ああキヤスティング

混ぜこぜと 焼き直しては あれだよな

ならば並ぼう 鷹の爪団

アジサイと 知らん花とか 草と土

大家次第で チョチョイのチョイか

あの頃を 引っ張り出すの 最中かな
甘くないない 起き上がりはよ

スリリング 右も左も 間違えず
掃除しました パシリもやった

昨年を 過去にしながら 往年の

義理人情は 大野伴睦

銅像に まつわる文庫 読まなかん
勝海舟も なんかあれこれ

淡々と あうんの呼吸 雪だるま
そんなにうまく できるかしらん

テレビだと メイクはりきる しかたない

雪だるま マリックさんが 消すのかな

河川敷 文教地区とマジックで
自由研究 未来博とき

目の前で デモがあっても でもしかし
取材ぐらいは したくならんの

それぞれの 役割果たす 大人じゃん

それぞれの 役割果たす 個人じゃん

軽くない きつねとたぬき うどんそば

頑張るの 由来我を張る あったとな

顔晴ると 書いて寄こした 実の母

東京の 母を尋ねて 知らんがな
三千里葉局 夏のポスター

僭越な 老婆心だが おっさんで

天皇が 残りや日本は 滅ばんが
それでいいのか まだソロバンか

政治家と アイドル違う わかってね

あれとこれ くっつけすぎも かえりみる

回顧録 残さぬところに 真実か

面の皮 開き直りが 不得手なら
沼にハマらず 立脚点を

点と線 推理小説 越える尾根
国家権力 あやうさ知らず

全方位 拾えるほどの 立場かや
違うってばよ 逆なら不遜

今井橋 自ら育つ つんつるてん

アイデアと 情報価値の 買い叩き
そっち心配 するといいいぞな

ヒカリゴケ 違えますって 西日浴び
じゃあなんなんだ それはグーグル

わたくしは 届けばアツプ 備忘録

サイズ感 ヨシじゃなくとも ももももも

ポット棚 座椅子も揃え へそで茶を

ヤフオクで 荒木高麗 にごるのね（ごうらい）

政党は パーティーなので ヒトとカネ

ウラとアバウト スポンサーさま

サンダルの カラーいいなは レディースか

純ちゃんど ねんごろになり 「女帝」へと

愛子さま それはやっぱり 家父長制

「貴婦人」が まだ来ないのは 理不尽か

夢の中 偶像たちの ストーリー

限りなく ゼロに近づく 数字たち

表みせ 裏をみられて 穴に入る (い)

お茶受けに 猫と小判と どらやきよ

目線ください あとアイデアも

茶々ならば ここに入るか おわんわん (はい)

ワクチンが 禁止ワードの Y o u T u b e

令和六年 六月

ワクチンの 強制接種 こわすぎる

ソーラーの 新築義務化 無茶すぎる

停電を しない前提 まだ早い

デジタルで 割りきれないわ オンとオフ

CMを ゲッツせんかい スタッフよ

電通と 東京都には ご職員で
具になります 成増ですか

能登の人 生活軌道 再取材

警鐘も 批判の一種 控えおろう

笹川の 2連複かな 都知事選

満州が ミヤクミヤクと生き 浮き沈み

ヤフオクで 手応えあると 売れしいな

花しょうぶ きのう蕾で きょう咲いた

雑草と 背くらべする してないか

意図ありに 思えてしまう タイミング

多数決 法と人権 曲げちやうか

ネコタヌキ 言外の意を 含ませる
人間さまの 面目躍如

あれとそれ 違うの承知 だがしかし
以心伝心 あれ何だっけ

これでほら ホラーをひとつ 夏に向け

夜時間 あれば寄るけど 君の名は

読んでみて クレーム箇所を 提示して

読んでみて 修正箇所を 知らんぷり

早起きで 隣は何を するのかな
知ったことかと 思わん村人

模型鉄 奥行き深さ 沼サイズ

誤情報 政府を糺す どこがやる

花しようぶ 離れて話す マジですか

売れたのに 少々残る 憂いあり

フランクに 会話できてた 夢だから
言葉の綾を 使わず弾む

要因は 媒体やんか 強と弱

判別を 人為と自然 公と私と

毎秒の カメラマイクが ホラーなり

本なんぞ 売れた試しが なかろうて

過敏なら 花瓶に何か 活けてみりゃ

接種せよ 煽っておいて 副作用

次は不安を 煽るなど云う

原発と どこか似ている 非科学か

産業利権 優先事項

おそるべし 優生思想 ジャパニーズ

実験場に 名誉白人

メタファーが メタファーなのか ファーボール

咲いていた アポイキキヨウに 声をかけ

咲いていた アポイキキヨウに 水をかけ

この支配 卒業したい 団地街

クエン酸 ヒトになっちゃう クエンさん

入国審査 架空の夢で

化け学は 亀の甲羅の 組み合わせ

占って　こさえた答え　脱炭素

私企業の　専横に乗る　渡世かな

行きづらい　生きづらいまま　『世界一』

またあった　不法投棄の　キーボード
何でここかは　意図あれこれと

そういえば　ワード入力　した本は
予約をしても　まだ届かない

液晶と AIなのよ トレンドは

霞ヶ丘も 目を見張るよう

億ションか ソーラーパネル 新築よ

大が小 強が弱食う 未開人

ドMかな トップダウンで 規制まち

違います ニューノーマルを やってんの

危険性 指摘するわけ ないメディア

都有地を 9割引で 売却で

やめさせられん やめられないさ

また何か 誘致しましょう CDC

小綺麗な 日比谷花壇は 残すから

ニューシティーには 多少の犠牲

わたくしも 一存でない 立場なの

ナノレベルまで 白くもないわ

シロクマも イルカいないか 葛西でも
なぎさ眺める 木かげをどける

花壇なら 整備するから あと歌壇

五芒星だお 思し召しだお

仏壇の 前に高すぎ 火葬料

民間任せ なぜか高騰

都営墓地 なくさないけど 増やささない

民業配慮 きめ細かいわ

追悼碑 選別します なぜならば
支持者受けする 何度冒瀆

公の 秩序言いつつ 売り渡す

飄々と 梅雨も七夕 浮かぶ瀬よ

舐めるなら ハチミツレモン 推薦す

噛じれるぐらい 煮詰めて浸す

鳥取へ 飛んでみたらば 点と線

二十世紀は ナシ寄りのアリ

山陰の 選挙区なくす 票の価値

こっち向き あっち向いたり 天然か

見返して やり直すのも 難儀だな

ナノレベルまで まちがい探し

ニューシティー やばいやつじゃん 大崎と

違うんだって 口を酸っぱく

アンタこそ ヤバイ奴じゃん パターン也

高名で 巧妙なのが 香ばしい
妙香園は 地下にあったと

あくまでも 地域市民に お願いか

扇風機 助かりますな 温湿度

猫実話 恥の文化を 研究か

西鉄と いえばピッチャー いたよって

踊り場で ステップ踏んで 録画中

クールビズ かりゆし喪服 本土でも
(内地とかウチナンチューで)

日本語は 喋れますかと クエスチョン

もっとさあ 感じ良くして 抑止して

出禁なあ 有資格者も 制限て

どこもかしこも ウチとソトなの

肅々か お祭り騒ぎ 足並みを
揃いのハッピ なかよしこよし

キーワード 自立共生 なかなかで

疎外感 格差感でも 懷中で
見透かされてる 主観設定

やむを得ん 銘柄違い サンデーじゃ
追いコップ 転売不可に 付加価値よ

生存は 競争じゃない 理屈かな
酸いも甘いも 関係ないて

溶けるのは 計算できる ココで口

和歌るかな 和歌らんだろな 庭の松
やっちまったか 玄米むすび

標準時 だからなんだな 時計塔
しばらく経って 水平基準

日米の本を Google Amazon で
ぞと言えない 公費留学

汐留の 再開発で 海風の
通り遮り 熱がこもると

無調法 仏頂面で 苦笑い
乞うご期待で 清水谷とか

大久保に 上野まわって はい銅像

ピーマンに 種と仕掛けと 小宇宙
さてはロケット 打ち上げいずこ

調所さまや ああ調所さまや 調所さまや

黒文字を ああクロモジよ おんてまえ

食レポは いたしませんの わたくしは

コロナ禍の バージョンアップ 3・0

虎ノ門　これはなんなん　意図おかし

政権や　知事変わっても　安泰で
でも乗りたいの　顔が立つから

わたくしの　愚息も歳を　とるわけで

赤ひげ先生　ダメよアカゆえ

ワタクシの　録音動画　どこあるの　???

お恵みの　社会通念　いかほどか

常夜燈 船荷降ろして また載せて

句碑みつけ 桔梗みつけて なんと読む

業務外 そんなのないわ 市民権

おっさんの 影がちらつく 候補たち

よく見極めて 選んでおくれ

令和六年 七月

プロレスは サゼッションかな クエスチョン

ヒラメ族 むしろ増えてる 新世紀

護送船団 お家芸かな

黒塗りも 空白もなき 筆とペン

余白はあるか さあ青二才

打ち水を 集めて外資 売り渡す

電話番 指紋認証 ナンデスカ

新しい 制作秘書と キーボード

TOKYOが 波及するのだ 地方にも
経済効果 トリップルダウン

民活や 婚活ええで 堅実に

鈴木俊一 嗚呼自治省か

選挙後に 都政の課題 アナウンス

勤務後は 思考回路の オンとオフ

猫実に 「宴のあと」は いった返す (ねこざね)

私企業の 利益ファースト オピニオン

セシールは チョコのセシルを 扱わん

フィクションで ええじゃないかと 実業家

新築に ソーラー義務化 大変化

再工不賦課金 負担は世帯

今だから 七日になった 夜のうち

陰曆は まだ先だって 梅雨明けて

七日でしょ みんな言ってる テレビでも

おかしいな 違和感覆う 和病かな

天皇の 赤子でせうか オメデタイ (せきし)

ひるごはん ちゃんとたべるか どうかじゃん

女子アナに 責を帰するか 夏の怪

レプリコン 逃げて強制 止めれるか
どこか様子見 自分の身体

安倍さんの 『悲願』持ち出す 改憲ジャー
野党共闘 分断注意

不都合を 可視化すなど 遠まわし
土俵ちがいも 通底させる

猫踊り ひとり相撲で かたづける
目をつむんなきや いい夢みなきや

共産と 離反させたい どうしても

改憲の テーブルにつけ 誘い水

ご批判は もう聴きとない めん独裁

シエスタの 普及だなんて ありえへん
生産性と 同調性で

何しても 何しなくても 汗流れ

平和裏に 露宇戦争を 続けるか

平和裏に 擁護続ける イスラエル

お注射で 死んでやむなし 民主主義

公共の 為なんだから よろこんで

四の五の言わず 提供服務

合憲と 自己判断だ ゴーサイン
いつものことだ 問題ないさ

審議会 利害調整 含み益
民間議員 配置選択

トマホーク 支払い困り 株を売る
先送りなど できん設定

つぶやきも 政府に委ね 正誤表

内心も 介入します もうしてる

素麺に すった生姜は チューブより

初蝉と CMを聴く 除虫菊

この夏も TUBE流れる 海の家

司直の手 及ぶと離党 さて辞職

材料にする 流儀は伝授

保守地盤 中央で売る 会議中

能登を見て 福島見ても 絆です

思いやり ワクチン接種 次の案

ゼネストの 機運摘み取り 半世紀
経済回せ 生産消費

ゆりかごも 墓場も課金 あたりまえ

何してる エネゴリくんの 中の人

虚業から 二刀流です 実業化
言葉いいから 流れるプール

荒波の 富国強兵 設定で
奔流止める ダムの憲法

本当だ 花火無料で 屋外だ
駄々をこねたい ただそれだけだ

『三流』の 政治に巢食う カンパニー

条件の 中でみんなが がんばるの
さあパリ五輪 応援しよう

条件の 中でみんなが がんばるの
さあ甲子園 応援しよう

条件の 中でみんなが がんばるの
さあ夏休み のぞみの予約

水を差し 水を差されつ 水流す
徳利ビール オレンジジュース

ポンジユース 値上がり批判 ダメだって
メーカーさんも がんばってるの

オレンジの 市場開放 オープンに
関税なんて 保護しちゃダメだ

露中とか BRICS 諸国 そこはほら
空気読めって あとタイミング

国連が 決議するなら そうしよう
保健機関も そりゃ正しいさ

主権者が 批判だなんて ケシカラン
所属はどこだ 上を通せよ

法則を 属人化する お家芸
すわ鎌倉に 一所懸命

自衛隊 募集チラシが コンビニに
ハローワークで 声がけいつか

バイデンの 撤退からの 傘寿知り
二階氏みたく 質疑ありなし

印西市 現職市長 喜寿でした
優しい市民 肩たたき券

古里の じいじばあばは スタンバイ
孫のためなら えんやこらとと

ニューシティー ニューヨークダウ ニュー○○

ニュータウン グランマと呼び 呼ぶウーバー

夏木マリ 夏季限定か ノンノンノ
夏木ゆたかを 忘れてならじ

オバマ氏を 小浜市で待つ フォーエバー

何度目の 「サマーウォーズ」 むちゃ元気

(15周年ですって)

伝統派 新興派との 争いに

百家争鳴 ああ単純か

百世帯 盆踊りはよ スタンバイ

ホシザキの ペンギンマーク だから何
テキトー単語 消える魔球で

サウスポー あたためている 肩と腰
壮行会の 前にホームへ

今居間の エコノミック アニマルズ

ホログラム ならめっこする 時はカネ

ベランダで 鳥ガサゴソと 夏の朝

水汲みに 行って忘れる 何度目か

同じ年 だからなんだと 言われそう

発言も キャラ芸風で 回収し

ああ門外漢 なんもいえねえ

メダリスト 実家商店 スタンバイ

にわか雨 多摩には多摩の なんだっけ

「回収」の なかったころの 後味よ

包み紙 何年噛んで いるんだか

包み紙 何人噛んで いるんだか

接種率 投票率を 超える謎

虚仮おどし 雷鳴響き 雨降らず

パラパラと 踊ってないと 粒ぞろい

行き帰り できて水やり いつやるの

初めての カレーにミルク 新鮮味

過去に飛び 甘美にしちやう 藤山か

表現に 付加価値つけて 規制して

ファクト正しき 非のない社会

是が非でも 非が是としても 口八丁

自家製味噌に 手入れ入る日

偶像に まつわることも 実体験
のこったのこった ひとり相撲か

ハリスでは 続いちやうかな 戦争が

ああそうか 寄る年波が 高いのか
それでもないと ごによごによごによ

小次郎と 武蔵どこかな 五輪ショー

夏本番 長すぎるって どこに言う

心身を 休めるいとま 天地人

令和六年 八月

物価高 直撃しても 金メダル

生命と 財産守る 実態は

欠席に 言えるハードル 遺憾の意

同じこと 浮かんで水が 売り切れる

小屋に蔓 大工仕事が 惚ばれる

憲政が 牽制により 逸れていく

海の向こうと 村のお祭り (権勢? 県政?)

スルー力 ふてぶてしさを 見習おう

種蒔いて 発芽するよう 手を回す

種蒔いて 発芽するよう 放って置く

種蒔いて 発芽するよう 水をやる

暮れてなほ 旧仮名遣い だから何

暮れてなお 旧軽井沢 緑蔭よ

飛んでった 白い機体も 上の空

逆差別 違うんだって 批評とは

ああ感想か 広告史観

品定め サンドバックの 弁慶か
自民党員 ならずアシスト

「野合」には 「ご都合主義」と 返しやい

生意気で けしからんから 恐縮の
演技上手に なれるわけない

政治部が 腕まくりして 祭り上げ
後は野となれ 戦争参加

青写真 ブルーライトで タカタカタ

裏金が 飛ぶか飛ばんか だれチエツク

公金で 資金洗浄 せにやならん

情報を 流し流され 口チヤツク

レガシーの 為の改憲 お付き合い

やばいって こうして土俵 審査会

諦めと 譲歩に慣れちゃ いかんざき

チラ見した 花火ちらほら へりの音

作られる 世論の風と リアリスト

緑道に 桜の季節 来るんじやろ

花が咲かなきゃ 桜じゃないと

改憲の 為の利用は 民に降る

領空で すわ開戦か 最初だけ

拍手喝采 いつか来た道

歳重ね 強い精力 保てない

こんな言葉に どんなチカラが

青雲の マック憲法 どうもこう

あの時は 仕方なかった 繰り返す ?

秋冬を 用意しといて 今だけか

高下駄で つまづかんよう バランサー

令和六年 九月

総裁の 地ならしをする 報道や

沈黙と 翼賛までに もう一寸

「仕掛け」には 感動感謝 お約束
陰に陽にと 風圧パターン

監視化の ガス抜き役は 降りれんと
何言っただ 知らぬ存ぜぬ

既得権 呼んで切り売り 加速する

「聖域」の 使い回しで 新世代

私企業や 個人生活 いじりがち
役所使って 何をするのか

改憲と 早期解散 誰の為

壊れても 国体護持は 保守される

進次郎 批判もプラス 誤変換

蒙古班 モンゴロイドが 大八洲

だから何だろ 浜の真砂よ

砂時計 海辺の土産 並びがち

なぞなぞで あやされている 赤子かな（せきし）

最新の 今だけを追い 老いていく（オイオイ）

コスモスの 若芽食われた 鳥いずこ
仕方ないやん なあバードマン

千葉民が 郷党を組む 控室

ただの挨拶 世間話で

習志野は 奈良市の丘じゃ おかしいと

合意に達し 通称署名

千葉都民 資格審査は 特になし（梨）

虚栄心 満たすアイテム 次期総理

トンデモナイと 余裕の笑みを

高くても 場合によっちゃ コスパよし

何言ってるんだ 漏らさぬように

音漏れを どうにかせいと どうしろと

欲得の 利害調整 今日もまた

慎み深く 平伏するの

おそるべし 得体知れない 世間様
幻想だよと 早歩きする

秩序より 心乱さぬ 癒やせとな
オファーなくとも 風の便りで

そこはほら 空気と流れ 呼んで乗れ
溺れぬように 修羅の大海

ご進講 ペーパーだけじゃ ない部分

公約は 議論百出 検証可

審議会 あっさり通過 織り混まれ

追認や 決定後では 遅いから

「料亭」に 飽きるの早い 逃げ足か

人間の 品評会に 食傷か
おかしな世界 感情移入

湯を沸かし 茶碗に注ぐ 時間軸

赤坂は 美濃にもあって 水知らず

記録本 いつのことだか キユウイチニ

藁じゃない 政治家すぎる 避難民

濡れ衣と 知っていながら おっかぶせ

それはあれやん 設定やんか

ミステリー 隙間三行 ひねりもち
似ても妬いても ああけしからん

産業に 寄与しなさいよ 清さん

八幡製鉄 みずからずらし

赤プリの 思い出話し ご冗談

真に受けちゃって 青いひととき

解説を ちゃんとしなさい つまびらか

誤解を招く 昔ばなしも

豪快に 5階の部屋を 予約して

してないじゃん ああそりやそうか

宇宙内 地球あること それとこれ

コロナ禍の 規制ハードに 改憲で
みんな一緒に 受忍するの か

政府より 叩きやすいし 好都合
拗ねたらあやす わたしの仕事

そうやって 困惑させて けしからん
もっと追いこみ 漁獲を競う

まだいける 酒の肴に もってこい
生け簀ながめて どっちのネタか

鳥除けに 鳥籠設置 Aプラン
どこ烏龍茶 サントリーさん

Aプラン 甲案にせよ お達しを
受けて書き書き 文屋が通る

警告は パナソニックの 冷蔵庫
頭冷やして ○○○○○○

早速の 接種中止で 指導力
それはないない ないのにエール

堅実を 探し求めて 逃避行

次期総理 誰がなるとか それよりも
それもあれじゃん 問題ないか

語尾砂漠 はよ砂時計 売り出すか

砂時計 売ってないじゃん 100均に
なんで買うんだ ただの執着

ちようど来た 美女なでしこの 種蒔いた
雨はいつ降る 芽は出るのかな

連結に 喩えたあとは 離合かな

わからない けど常識で ありえんと
その常識は コミュニティノート

肯定と 受容しちやっちや 是非もなく

芽が出ても 心の準備 鳥の餌

切り花に しちやう人間 虚飾症

石破氏を 叩いて渡る 愛國駅

改憲じゃ 手を組む自民 さて野党

令和六年 十月

風と鳥 追いつ追われつ 秋桜や

風に鳥 追いつ追われつ 秋桜よ

解散が 急でも立てる 候補たち

勝ち負けやない 比例と面子

裏金に 対するウラは 物価高

調所さまが やたら増えるか 新鮮味

アリエール 使う使わん せんたくし

いたはずの 柴三郎が どっかいき

いたはずの 柴三郎が どっかいき
ここにいたのか 会いたかったよ

立つと見せ 立たずに握手 野合かな

会社人 投票依頼 社長から
もう違うから CEOじゃ

襟正し 照明写真 自然光

余談です そんなもんかな エックスは

欲得の 利害調整 自民プロ

ヤンキーの 上下関係 戦後から

茨城で 東海第二 巡る夜

原発と核 止める術有無

ハロウインに 負ける選挙と 民主主義

嘉されて 幾千万の 寿か

おめでたいのは 高砂町か

揮毫論 激安くんと 語る暇

攻防に 筆が鈍るか タッチペン

うざ絡み いなして進む ごはんかな

菊花章 犬馬の労は 過ぎたこと

耳順かな まだ早かった 知命じゃと
実年齢と 設定範囲

氷点の 文庫の文字を 追えるかな

笑点の 由来なんぞと 今さらに

おまはんに 説諭だなんて おお人治
何でも言える 社会いつまで

情と理の 配分加減 利害加味
選択基準 こちらも問われ

要望と 手続きならば 低頭か
手続きなのか 腹は見せずも

顔立てて 稟議書まわし さあ会議
あれ決まってる 根回し上手

心臓が 動いています 生きている

第一声は おぎゃあかしらん

天皇の 赤子だなんて 滅相も
ないならないで 大人しく○○

天皇の 赤子だなんて 滅相も
ないならないで 大人しくあれ

新宿も 下新宿も 通過して
かつやとイオン 岡田克也か

ご気分や 風に左右も 上の空
何の修業か 問う暇なし (いとま)

わたくしの わらにすぎると スベるかも
目の前の人 票持つ人に

静岡の 望月義夫 もういない
ただ名前だけ 知らぬ存ぜぬ

ヤフトピの チョイス優勢 意図の有無
刷り込み力の ダントツ自覚

勝ち馬と いうより居たい 多数派に

勝ち馬と いうより居たい 多数派に

行動原理 学んだルール

肩書きの 使い分けなら できてんじやん

ラフランス 初めて食べた 祖母の部屋
こんな美味しい 果物ありや

ラヴェイット！に 関根勤は 出ないのか？
視聴者フォーム それもやめてね

黒子ゆえ グレてんのかな よしよしと
仙谷由人 縁側いない

ぐりとぐら 福音館は あてずっぱ
もしも検索 なかったならば

モネの池 行ける路線の ありなしや
ながら会なら どーぞどーぞと

仕方ない 白菊号で 撮ってみた

思っても 表に出さず オトナなり

超法規 いてほしいのは わかるけど
選挙や政治 だまっとれんの

悪党を 刺激スナ派 シーア派の
わからんちんは ちんちん電車

下走り トルコのバスに どうもこう
道交法に 気をつけるしか

横道に それず横路 ああ二世

わかってる 丸くないよね よねこさん
高見知佳さん 青島さんよ

知らなくて いい問題は スルーだよ

田村アナ 圧かけてたら 鍋食って

公務です 業務なんです 面子です
無謬なんです 位階なんです

シヤチハタは 経費で落ちる 落ちません

支援から 派兵に進む 改憲で
おどかさないうで 上手に釣って

丁寧に 説明重ね 頃合いに
ブルドーザーと 銃剣装備

めんどいね 行きたくないね それでもね
有無を言わさず 軍靴の響き

勧誘と 違うんだって 主権者よ

証紙貼り ビラを配って 素通りも
笑顔絶やさぬ 貴方は偉い

思い出に やることやって 思い出す

がんばって 開票所いく 雨予報

棄権です 無政府主義者 筋通す
思想強すぎ いるかいなか

夢の国 居住スペース 探査する
入場ゲート 通過できんにゃ

重い腰 アゲインストと 雨降りも
から揚げ食べりゃ 上がる数値が

起動して 行動したら よかばいと
肥後もっこすに NISSA 広告

虚も実も もっともっては 「コスモス」を
読んでみなはれ そやかてうちな

少々の 焦りみられる ミスっても
ダブルトリプル チェックきびしい

朝イチに 新聞眺め ご挨拶
おつかれさまの ご家族さまも

懇ろに なって批判も 記事にする
文屋魂 見たい読みたい

ドント式 計算しちゃう ネット民

初めての リモート対話 出来たぞな

ごもつとも まったくもって ごもつとも
信教自由 ああありがたや

二日目の 豚汁に足す ネギ青し

釣られても いいやと思う 「利用者」か

令和六年 十一月

毎日が ハロウィンなんて 暗黙よ

アメリカは 他国領域 なぜ派兵

睡眠の 制御対策 基本法

足跡を 消せるだろうか スニーカー

総辞職　　そういうことか　　二度見した

雪景色　　やっとできたわ　　松で待っ

公人に　　判官鼻肩　　あ官とか

税收と　　労働力を　　誰求め

マル経を　　今更という　　進歩主義

余剰生産　　量的緩和

(解説しない)

ベテランの パートは社員 しませんよ
社会保険は 天引きします

歳時記に ブラックフライデー 自由律

エネルギー プ その手あったか うすうすと

ミツイスズ 能登半島の 開発を

人権も 切り売りをして 財を成す

軽トラに 乗る夢をみて ラジコンカー

現実が 追いかけてくる 虚の世界
鉄道の ダイヤトリック 書けん世に

令和六年 十二月

陰謀は 否定するけど 魔法とか
あればめでたい 長者番付

本社ビル 都市に遺して 歳の末

有人の 窓口減らし キヤツシユレス
時代の波と あっさり風味

サスペンス イエローカード スピーディー
クライマックス ジャストモーメント

次の本 次の脚本 乙としか
のほんん具合 創作意欲

若葉から 紅葉に変わる 通過点

柿つつく 機械のような 鳥の声

うつつでも いいよのセリフ 遠き日よ

夢の中 石原さとみ 笑ってた

講評に 口を挟まず うどんすき

好評も 不評もオイシ 何笑い

生産だ 投資NISAだ 消費しろ

無理ゲーなんて 甘いってばよ

墨と筆 黒いダイヤの色違い

お局様は きょうも都に

ねず吉と 名付けてみても 上の空

いつまでつづく 共生の屋根

代筆を 俳句はしまい 伴走者

コスモスも 美化運動で キラキラリ

エホバとか ものみの塔は おことわり

はやくこいこい サンタクロース

みんなやる 習慣化して できあがり

朝起きて クルマで出かけ 何かして
おつかれさまと 安息の日々

プラモデル ジグソーパズル だからどう

年の瀬に 洗い流せて ありがたや

ドライバー 人か工具か ゴルフかな

ちいちゃんの横に軽トラ 写ってる
軽トラの横にちいちゃん 写ってる

令和七年 一月

初春に 立春遠し 近くかな
遠路はるばる かいろの日和

大発会 振袖姿 今昔

猪八戒 黒幕姿 映像に

大殺界 細木数子の 養女さん

安岡氏 研究本は 手許なし

損得と 喜怒哀楽も お天気屋

冒険と 日和見までも パッケージ

パーミルで 権威勾配 ○○○○

いっだって 奇想天外 夢の中

オソガイで 銃の規制は 必要だ

佳子さまも ポケモンやって 行かず後家

(この句の問題点をやんわり指摘せよ)

仲居さん 呼びづらくなる 変な宿

ギョーカイに 業務外なぞ ありなしや

ヤオジンは すでになくなり 夢の中

腰かがめ その前に舐め 青と赤

人脈で なんとかならん こともあり
蟻の一穴 モハメド・アリて

リアタイも 延長戦か トトカルチヨ

PKを マキで頼むと 手を回し

100人の 村じゃないのよ 人類は
イナバ物置 ああ雪子さん

勘定と 感情描く ストーリー

説得力を 失くすリスクよ

フジツ子が マメに食います 風雪も

下の句だって ○○○○○○

ファミリィを すぐつくっちゃう 人の性（さが）

粗探し すぐしちゃうのも 人の性

こうやって 組織とビルは 生き残る

報道倫理 それはあれやん

ムキになる　なんでなんだん　Pちゃんよ
それにつけても　朝な夕なに

フジテレビ　御用組合　どこいった

イマサラニ　イッセーオガタ　タンタカタ

今すぐに　理解のつもり　早合点

省みて　あふれんばかり　思い出の
ひとつひとつを　保存収納

日和見も 照らし照らされ 春を待つ

睡眠時 夢をみれたよ 摸さんや

過去は過去 今は今だと 五分前（約）

理より情 人治がつづく 日本村

この湯呑み どこでどうして 手に入る

冬晴れに 二の句を継げぬ 閑古鳥

冬晴れに 二の句を継げる 閑古鳥

漆黒に 躊躇いなんぞ 拘りで

令和七年 二月

雨じゃんか 傘があるじゃん 足がある
あなたの好きな 自然じゃんかよ

みききする スルーできずに もちあぐね
それにつけても からまんぼうよ

立春に 咲いてくれよと あらゆる手

新しい 革靴に慣れ 加速する

日本村 取り込まれてた だからどう

夢の中 香取慎吾に 熱弁を

雪どけの 味は知らねど 筑前煮

氣の抜けた 炭酸水に 色を着け

氣の抜けた 炭酸水は 宙を舞う

氣の抜けた 炭酸水は 大氣圏

陶器鉢 いいもわるいも いるのかな

こだわりで 柳に風は まだまだだ

公有地 高く売却 それはせん
安く提供 天降りかな

液晶に 機影さがして 目を凝らす

令和七年 三月

入内する 夢物語 甘酒か (じゅだい)

かんぺきで あれよあれよと いうままに
つくばいのみず うきもしずみも

伸びすぎた 竹の根元に かぐや姫
月の曆と 太陽曆と

雪化粧 なんて野暮よと 忍び足

念持仏 なるもならぬも 自他力で

最低と 最高すぐに 使いがち

棟梁が 投了をする 自作駒

大手局 勝ちと価値とを 見極める

シカタナイ 志方俊之 呼ぶ手配

つくりだす 風潮次第 お手のもの

符丁さん 呼んでください ワタクシカ
仕方ないなあ 此処に居るよと

非公開 再生できず 削除かな

軽々と カルトと言っちゃ バテレンに
何言ってるんだ だるま最中よ

小雨ゆえ 傘をどれどれ 眺めたり

花のれん 結び開いて みなとやま

早咲きの 河津桜を ただ眺め

龍燈鬼 初めて知った 世の広さ

雨音に 芽出たき時を 松桜

苔の蒸すまで ででででで

ふりをして あれをこれして ふるまって

あとにつづくは つくづくぼうし

芽吹いてた 流泉もみじ 派生かな

セルフだと ちょっぴりこわい 配下膳

蒸し返す 苔の根っこの 水具合

念力で 水の結晶 丸くする

念力で 水の結晶 丸くなりや

お転婆に なるもならぬも 御殿場で

おっとどっこい 旭山関

吞まれてる 新もあるのか あやめ橋

堤防の 桜の枝を 手折るより
盆栽いじり けしからんとな

それとこれ あれとそれとを 幾度も

土の量 減らして咲かす 技術とな

念ずれば 咲くか芽吹くか 実験地

フィクションで 噂をされて ハナミズキ

令和七年 四月

どうしても 高値の鉢に 吸い込まれ

ぐうの音と 放歌高吟 二重奏

それにつけても 若草色よ

桜観て 躑躅を浮かべ あかんとて

それより漢字 書ける書けない

ネモフィラと ホタルブクロを ああやって

ツツジを植えりや よかろうもんと

何だっけ 有象無象と 花まつり

身構える 鼠の気配 居る居ない

まだ走る 自転車で行く 自転車屋

もう錆びて だからなんなの 沿岸部

派遣工 主役のドラマ NGか

斉藤工 字面だけじゃん

是非よりも 態度印象 槍玉に

セクシヨナリズム 品評会よ

本質は ただの生き物 味気ない
それにつけるは 振りと演出

憲法も 建前にする お家芸

ひっくるめ 調整をする 業務です
不平だなんて あってもなくす

拗ねるよう 見えてヨシヨシ 臍負だと
だからあれじゃん 調製じゃんか

何にせよ 枝葉末節 どうしよう

小手先なのね 小賢しいとか

選別と 切り捨てをする パブリック

そんなもんかな パブで私人ら

チクチクと 風刺になるの どんな機序

情勢と 機運醸成 水差さず

数値や法理 損得次第

駄目だって 社会病理を 摘示しちや

選挙前 変化は既に 出てんじやん
「何も変わらん」 事実だろうか

違うって 既成事実と 既得権
あらゆる層に あって七癖

難癖に して守りたい ただ面子
イツメンが良い カルテル村で

さあ往こう 監視社会も 楽しいと
政府メディアの 誘導通り

大雑把 否定含みで いざ進め

入場ゲート 準備万端

バリ取りで 社長になれりや バリバリと
できるできんの 比較大賞

あったので 入手できたわ しょうゆかな

遺伝子も 組み換えてくの テクノロジー

わーいわい リング螺旋の おめでたさ
グリーンに寄せて チップインバイ

ありがたや 揉めてまとまる 丸の内

柳戸で 柿の摘果に 意味づくり

田植えの稲は 素手に既にで

タメさんや ああタメさんや タメさんや
会ったことない 写真もたぶん

ハレつづき ケをたいせつに 保持しよう

あっさりと 腹案を消す 作用有無
こつてりだろ う ジメツとだろか

ソースゆえ 出禁を食らう スキキライ

県庁の 記者クラブP まだありや
梨屋つらなる 山之上いくら

ぐるぐると まわる電波の さじ加減
ぐるぐるとつて モモモモモモ

お神輿と　ワの作用機序　沙汰止みか
島津天秤　白衣を離れ

死後叙勲　有りや無しやは　越権で

労災を　無言の圧で　できん人

敷島の　軽さ重さを　盛るモットー

詩にするの　難しいとな　桜らら

甘すぎて 黒文字もなく どうわける

アドバルーン 上げて引っ込め その手法

フィッシング 詐欺メールくる パターント

姫ツツジ 届いたならば 鉢合わせ

姫ツツジ 信楽焼に 植え替えた

新緑の 風は何処に 伊豆の国

根比べ ナンで小麦粉 米印

積み上げた プラモ手つかず あるあるで
ポツケないない ビスケットとな

練りに練り 顔に塗ったり プラント

天人 寸評まとめ 甲乙と

お見通し お見通されて 霧ヶ峰

期限前 ポイント消化 明日までか

あることを ないことにする マジックね

編集の 腕を見せられ わあすごい

風説と 煽動なんて 一元化

ワンワールドで 明るい日本

ゆで太郎 中山美穂の 曲流れ

トランプに なって削除が 減ったとな

天皇と 時の総理に 宮仕え
おつかれ生と 東の京都

明解も 複雑化して 塗り重ね
屋上屋も 限界リング

凸版で 突破をすると 凹凹に
社名変更 逃げ道確保

報道に まだ期待する 青二才

見境と 分別つけず 大人風

媒体を 制御したいと 思うわな

ハナミズキ ああハナミズキ ハナミズキ

花びらと 重さ軽さの カレンダー

とりあえず ヘビと土管は 操れん

操り上手 電波を照射

ストーリーを タミヤカラーで 塗ってみた

令和七年 五月

面影を 抱いて眠りて 夢心地

晴れたとて 増水の川 あぶないよ
鮎雑炊も まだ早いのよ

薫風を 満喫したら ネットカフェ

いつぞやも 同音異義語 遊んでた

耳にタコ　どうもこうもで　オクトパス

笹百合と　法林寺窯　我執とは
問わず語り　に　忍たまだらけ

抜け出せぬ　イメージ村で　ひとやすみ

朧月　今じゃないとて　浮かんだ夜

物語　模型にガチの　趣味人よ

雨風に　耐えて竹ひご　支点長

合成の 誤謬に躊躇 文庫本

フィクションと ノンフィクションの 混濁たあ

どこまでも 包摂したい 仮初めの

ダメだ字面で 仮○包○

ゴロゴロと おなかとへそと ログマーク

煎じ詰め それが試練と 苦渋なり

海苔胡椒 童貞ならば 並んでも

万華鏡 言い得て妙の 香ばしさ

それにつけても 出がらしいつか

被験者の 自由は高が 知れていた

飲んだこと ないのに浮かべ 根深汁

消費して 消費税率 維持なりや

逆心は どっちなんだい 難題か

随意から シナリオ新た また生まれ
知らぬ存ぜぬ そりやそうじゃんか

サルスベリ 選挙当落 どう作用

ウケ狙い 起用人事も 他人事

新しい 全体主義が スタンバイ

大臣で 選挙応援 走る図を

無批判に出す 場面が浮かぶ

ご都合と エモーショナルでは 行く末よ

軽くする 科学と論理 諸事情で

諦念を 達観と云い やりすぎす

令和七年 六月

物欲に まぶす言の葉 蒐集と

両立か 御伽の国と リアリスト

薰風も 強きや雨戸を 叩く音

小細工に 走りがちなの ナノレベル

作家モノ だけがホンモノ わけじやなし

道楽も 苦境にありや 梨ゼリー

伐採樹 挿木素材に 払い下げ

民間市場 放出ならん

三食を 供給できん 文明に
いのち輝く 未来はありや

カステラの 箱を見せられ 御家老に
ついていくのか 今も昔も

学問の 自由の次は どこだろう
何言ってるんの 便利快適

属人で 一喜一憂 米相場
御用提灯 在庫無限か

ガラケーは マナーモードで 鳴り潜め

ウグイスと ねんごろになる ガラス張り

カラスもいるよ ヨークシヤテリア

情利制 おつかれ沼に わんさかと

中東に すわ派兵だよ 改憲で

わーくのに 私法の強さ おそるべし

それにつけても 大樹と丸太

柔軟に 対応するの 楽勝じゃ
羽毛とポリと コットン率は

超法規 ノーサイド待ち 蜃気楼

泡沫も 枕を高く 眠れる世

江戸川区 行政無線 聴こえてる
もしや有線 何を優先

総覧で 無圧だなんて おこがましい
四条烏丸 せつこドロップ

フジテレビ ヤクルト戦を 流しやいい
東京音頭 ホテルで眺め

オラシオン ああオラシオン オラシオン

妹よ ああ妹よ 妹よ

小野妹子は 隋か唐かな

ファミリー化 しては散っていく 髪伸びて
土日は混むの セオリーやんか

オコのフリ それでナデナデ ワルイクセ
それにつけない 余談ハイハイ

迷信で 人を疑う こともあり
仕方ないやん にんげんだもの

一幅の 襖絵の虎 出してみて

すぐできる しがらみ焼て 浅はかな
楽しみに待つ 松じゃないもの

勝ち馬に 乗れば負けなし 楽勝か
それにつけても 過疎の村々

なんにせよ ちばのかまくら とけるとな

国民の おもちやだなんて てってけて

恩寵に 感謝の術は 手や口か
それにつけても 気温が高い

植物に 南中高度 雨いずこ

お望みの ドラスティックは 銅鑼の棒

この世をば ヤラセとヤラセ なんでもしよか

夢の中 思い起こして 口述て

筆記試験も セットなのかな

新しい 意味よ来い来い もうきてた

分別を つけりやつけたで わあわあと

重心が 移動をすると 逆バネが
そんな安易な エモーショナルで

わたくしは アナーキストに ならんだけ

安い土 高価な水と 蒸気船

解釈で 介錯なんざ 野蛮な世

高温で 注意すべきは コーンかな
ポップコーンに なりはしまいで

何故でしょう　ハテナの好きな　ナナナナナ

面食らう　風化作業じゃ　ないじゃんか
ジャージャー麺の　ありやなしやと

大概是　SDカード　セーフティー
何をおっしゃる　うさぎ一匹

令和七年　七月

不都合は　不可解エリア　好都合

委嘱状 無くて七癖 古戦場

モリゾーキッコロ ポロリもありや

楽しくて 実利もあって 正しくて

欲張りさんの 期待背にして

不可侵の 更に内心 制御とな

市井の人は ただ低姿勢よ

主催者が お客様では メニュー表

対策を 重ね重ねりや 重くなる
背負わんで良いの それも越権

虚の人に 成れよ慣れよと 実力者
無茶振りじゃんか もしや争点

面目の 施し合いで 貸し借りは
梨のつぶてと ゼリーの器

まなざしは 政党候補 追ってくり
火中の栗は 晩秋あたり

熱中に 冷や水誘い 逃げ水か
蒸発したら 雷雨になりや

人の口 戸を立てたがる 為政者か
どうも人々 マスクマスクと

角立てず 丸くなったり 星になり

成田山道 鰻の生簀

参議院 ハードル高め もしかして
不変不倒の 投票砂漠

自由への 地ならし作業 難航で
なんでなんだろ ああ村社会

国の為 死ぬの生きるの 煮詰めすぎ
希釈したらば 海は広いな

水面下 連立追加 ありなしや
言質どれだけ 保ち守るか

野党なき 野次も飛ばない 選挙戦
そんな絵面を 平和と呼ぶか

わたくしは 自慰表明で 虫の息
それでよからう ごからうさまよ

シエスタを フレキシブルに そげなこつ

他意つける 尾頭たちは 文化人

それほどの 風や流れの カルガモか
それにつけては 自重のススメ

トウカエデ ヒメユキノシタ マユミだよ
水色釉の 名称不明

周波数 課題設定 キーなりや
荒木高麗 すわ戦国か

縦横じゃ ない複雑も 明瞭に
分別つけちゃ またエンドレス

白米を ズウさんにする 源さんは
大工だなんて 小細工いらん

キヤパシテイ 国家も図書も まだありや

勝敗と 上下以前の 人と人

的外れ お門違いも 芋の子か

あらぬざわざわ わざわざ〇〇〇

熱いなら 冷ますと良いよ 実践は

なかなかかな時 タイムタイムで

的外れ お門違いも 芋の子か

あらぬざわざわ わざわざ口に

振る舞いと 内心求め 縛り合い
そう言われると そうではないと

甲乙と 吞んで含んで 流れゆく

なんだっけ 人が名づけた 花ひとつ
それにつけても リッチェル和柄

ボールペン 手にして書くは 何ミリの
8ミリおいしい ゼロコンマ駒

一票の 重さで変わる 合区だと

マイナンバー ひも付けまでは 何年か

アラレなし ブタさんマイクで アジったり

わかるだろうか フライ捕球よ

アラレなし ブタさんマイク アジったり

わかるだろうか フライ捕球よ

いつの日の 海水浴と 磯の香よ

バチならば 太鼓のアレで ソレやんか
薬缶に水を パックひとつよ

訂正印 サイズ違いに 想い馳せ
それにつけても 過去と現在

ベネッセが 大きくなって 黒ペンね

サントリー 吞んで吞まれて 併吞か
それにつけても 黄桜の酒

観自在 有為轉變も あるがまま

よき言葉　きれいな文字と　評価する
こころコロコロ　人間だもの

どうしても　意味を付加する　人の性

アリンコと　ホタルブクロと　竹ひごと
ヘリコプターの　音と水槽

百日紅　存在してる　猿いない

験担ぎ 氣運で変わる 民主主義

もろいもんなかな もろこし村よ

落ち着いて 生活をする 寿留女烏賊

落ち着いて 生活をする スルメイカ

お芽出鯛 大漁旗に ○○○丸

それにつけても 梨と枇杷の実

熊知事の 動静チェック ポイントか

それにつけても いすみ鉄道

千葉県　ゴルフ場数　高止まり
それにつけても　バブルの頃は

秋号の　準備やきもき　するしない

ハタ坊と　お子様ランチ　オメデタイ

木村屋の　あんぱん配布　今はダメ

ご時勢と　エモーショナルに　論理ネス
そうはいつでも　そうでもない

ようかんを　とうとう口に　どう分ける
それにつけても　足さぬ引かぬと

百日紅　夏に咲く花　二重季語

雷鳴も　ポツポツ雨も　不如意なり

シンクロの　中にこじつけ　含みそう
類似と相違　分別の日々

雨上がり　気温が下がり　甚平よ

葉の色と 言葉の色は ズレるわさ

それぞれの 色で描いた 絵図なりや

肩書きと 上下強弱 なきや不安

そんな社会は 狭量だっけ

モチーフの あれとこれとか 言葉には
しなくていいの 瞬間のこと

困る日々 滅私奉公 圧つよし

大きな宅に 小さな私室

植木鉢 盆栽鉢の 植物で

困りごとなど 軽くできたり

在るものを 概念で消し ピクセルか

それにつけても 桃はもうない

筆じゃなきや 塗れないじゃんか ぬらりひよん

それにつけても 妖怪いない

困難を 説かれたところで 名和尚

それにつけても 人間だもの

塗ったのは ここにしかない プラモデル

そうはいつでも 量販品で

あたりまえ 一人一票 むずかしい

ミツムラか コウムラなのか 未だ謎

それにつけなきや ああ袖ヶ浦

鳥きたり なすすべなしの 百日紅

風きたり なすすべなしの 百日紅

勢力で 変わらないもの 何でしよな

下手なこと 言えなくなつて うだる夏

枯らさない 魔法があれば 使いたい

朝の水やり 早く起きろと

令和七年 八月

初蟬に 早い遅いも 問わんわん

初蟬の 早い遅いも 温暖化

ドアを開け 花火ながめる みじかめに

風吹いて 飛ぶも飛ばんも 此処に居て

金麦じゃ あたらないのは あたりまえ

過ちの 解釈巡り 歴史戦
事実誤認も 通過儀礼と

桜の葉 飛ぶこともある 風の盆

幽霊は 何時何分 いつくるの

敗戦の 総括よりも 意気盛ん

冷や水も ぬるま湯になる 熱視線

活着の 峠小峠 こんな日だ

日々新た お鉢が回り ネタと寝た

日々新た お鉢が回り リンリリン

課題感 過大になると 目が回る
宿題なくて あったりするよ

不都合で 好都合じゃん 目まぐるし
紙風船を 誇張爛々

継続の 最後の一片 自由じゃん
現憲法に 明記されてる

溜飲を 下げる為かな 球児たち

軍服の 流れ絶やさず 新機軸

透明の フィルターだとして 反転よ

実務家が 虚に憧れを 抱きがち

瞬間と 日々に納得 するべきか

瞬間と 日々に納得 するべきか
一知半解 もったいないと

刷り込みと 反復作用 お手上げだ
それにもつける 暗喩が上手

とりあえず 熊とこだまは 念力か
否定しながら はさむスポット

トランプと ゼレンスキーと プーチンで
和平に向かう だが問題と

夏終わり 土を使って 秋備え

まだ暑いじゃん バーベキューだぎや

宮利庵 茶番だなんて 魅せません

蓮っ葉な ものの言い方 さあ綴り

木の葉井 兄と食べたわ 大福屋

移転したとか 再開発で

歯医者行き クラウン取れる 夏の午後

因果は何か また新機軸

歯が命　それとこれとも　もものうち

『穢多非人』　「橋のない川」　読むべきか

人間は　アンパンマンに　なれんぞよ

字の如く　文化は化けて　意味も足し

字の如く　文化は化けて　意味も足し

それゆえ求む　事実と物理

編集と 作者と教師 意識して
感想文は そりやむずいって

青柿が 色づいてるよ 葉の下で
上にしなさい 嗚呼職人よ

青柿が 色づいてるよ 葉の下で
上にしなさい 葉書職人

青柿が 色づいてるよ 葉の下で
上にしなさい 寿司があるじゃん

液晶の 向きに拘泥 小粒とか
細粒だって だってあさって

メイキング 睡魔襲われ 夢の部屋
実家なんだが 配置違った

土と水 植物入れて 創造は
別のゲームがあるんじゃないか
認識と 概念つくり 流布の街

溶けるまで 速度求めよ 解けるまで

ぬいぐるみ なにもいわずに ここにいる

忍たまの ピンポンダッシュ 変な家
水はやってる 桜は春よ

令和七年 九月

かわいさの 変化球でも 訴求力

こわいの 変化球でも 訴求力

クラリーノ　ひとりひとつの　カバンだね
本革だもん　あわわあわわと

重い足　軽くなるのか　クリニック
なぜか出てくる　足軽ひとり

みんなやる　落ち武者狩りは　やめれんと
なぜならみんな　やめないからだ

新浪氏　人間だもの　仕方ない
勲章消えた　それが残念

ワイファイの 停波理由は 未払いか
大人の事情 関係ないて

ネムノキの 花が咲いてる 案山子とは
違うんだべさ ホタルブクロよ

花音ちゃん タペストリーは 案山子かな

ひのきの香 ベランダの蚊 舞台化か

鬼灯の 生育遅い 言ったとて

ハロウインの 菓子を浮かべて 曼珠沙華

物件の 瑕疵を浮かべて 枯れ尾花

給付金 引っ込めるなら 改憲も

連立に 引き込めるなら 安い罨

誓願寺 いくつあるのか グーグルよ

アゲハチョウ 遠目にチラ見 丁度いい

動かすと 手放しづらい カツカツ期

この時季の パジャマを入手 タイミング

タイミーで スイスイできりや 苦勞なし

(やまなみ)が 海の中でも イートイン

クリムゾン わからなくても イーグルス

袖通し してもせずとも いつしても

Sサイズ 以下の報告 いるいらん

袖の下 何が入るか いちもんめ

問答無用 まだまだ残暑

居眠りの できん議会の よしわるし

テレビ報道 するのしないの

B型が B型へ行く 算段デイ

令和七年 十月

残暑から 秋雨になる 速度とは

字面だけ 柳に風の 域遠し

エゴノキの 影は日差しと 自我かいな

ネムノキの 花は咲きたて 見た目かな

浅い夢 起きて掟を 増やすかな

不味公 不味いだなんて 言うまいて

負担増 買って出たらば 株上がり

人事より 人治の是非を 今一度

恒例の 製陶所レポ 饅頭と

名目と 実質だとか さじ加減

悩みは尽きぬ 浜の真砂か

『適正』と 自己採点が 増えた罨

公認が あると進むの お上さん

文春で 差し替えられん 検査をば

文春で 差し代えられん 検査をば

老婆心 青島幸男 今昔

財界の 男妾は わんさかと

国民の 先に掲げる 国家とは

新しい 靴の内定 漏らしたり

防水仕様 さあどうしよう

同志ゆえ 足並みそろろう わけじやなし

ならぬもの ならぬと申す 八重の膝

脛に傷より 増える黙認

新造の 軍靴響かせ 大通り

やんややんやで 草もうなんぞ

お祭りの 為だ何なら 善行だ

開き直れど ああ勇み足

置く座敷 野立看板 河童像

書く忍者 アタマイタイの 二階堂

芭蕉句碑 あるかないかは 内科医に
たずねてみても わかるわからん

小学館　ゴーダセンサー　弥栄で

新NISA　元本保証　ありなしや

神様を　八百万で　買う術か

いつぞやの　まち歩き紙　あるにある

この靴は　とっておきたい　いざ備え

洗えない　足に履かせる　サポーター

書類箱 届きましたわ ヤマトさん

甘露かな ああ甘露かな 甘露かな

雨露を しのいで暮夜 長良川

其の人は 余人を以って 変えがたし

此の人は 余人を以って 変えがたし

どの人も 余人を以って 変えがたし

どの人も 余人を以って 代えがたし

予定日に 誕生しなきゃ 駄目ですか

またつくる 何が出るかは いざ知らず

体育の日 ハッピーマンで 変えた保守

フレーズで 連呼してたの タカの群れ

国交を 回復したと 井戸掘って

縁側で 茶を呑んでない 無理だから

変わらない 政治が変わり 問題と

既得権益 そりやありますわ

みんな教 俄然勢力 第一位

草案で 個人を削除 自民党

釣り糸を 垂らす垂らさん 野党から

お囃子は ハヤシライスと セットかな
早矢仕有的 諸説小説

田沼くん 野球やってた グランドで
拡張記念 それがブロンズ

白足袋は 京の都と かぎらんさ

はやく煮ろ 沸点低い 客の群れ

どっちみち グローバリスト なんじや説

ガチャピンの ムック本とは これ如何に

兄くれた オリーブオイル 手に余る

詠む恥な ナンも出てこん 小槌かな

どーしても ファイル食いつく 未来人

落としても 割れない素材 匿名で

でんでん太鼓 講釈あまた

メッセージ なるかならんか 円卓や

スイスへの 七命なんて ありえへん
エヘン虫なら 龍角散と

金屏風 鏡割りにも 銘柄で

負担減 黒い猫でも 良い猫か

餅代を 税調筋に 用意だべ
ずっとやってる 記載不記載

この匙を 投げたところが 所沢
プロペ通りを 歩いた秋よ

腹案の アドバルーン化は しぼみがち

執念で 掴んだ先は 何の為

日枝神社 奉納樽の 中身有無
それがどうって なっても困る

チョコ握る グリーンの上で 堂々と

文化の日 化け化けしたら 明治の日
おっかねーずら 甲乙丙と

文化の日 化け化けしたら 明治の日
おっかねーずら 甲乙ヘイト

衣替え こたつ毛布と ズボン下

衣替え こたつ毛布と ズボン下
身体検査 基準いろいろ

どうしよう　これは国旗か　インテリア

旭日旗　用いる人が　増えるかも

全体の　奉仕者なのね　公務員

配置換え　随意と言えど　ドラえもん

もしかして　○○ホテル　☆☆☆☆☆☆

林檎の字　まだ書けんので　甘いのね
まだはもうなり　もうはまだなり

横田基地　スパイ入国　ザルですわ

読んでみる　文庫本から　なに派生

もしかして　富士山かしら　たぶんそう

毎日が　ハロウィンやんか　御芽出度い

令和七年 十一月

食うならば 味噌こんにやくと 山椒かな

視聴すりゃ 感想ジャッジ 惹起する

くらくらに なるまでゲーム なんぞだろ

次々レーン 新たなタスク

またしても 速度制限 まちじかん

黒松の 盆栽仕立て わからない

交易の 存立事態 止むを得ず

夜郎自大で 進む火の玉

交易の 存立危機も 止むを得ず

夜郎自大で 進む火の玉

ニッポンは いつでもスゴイ 日本ゆえ

オールジャパンで 連帯なのか

ニッポンは いつでもスゴイ 日本ゆえ

オールジャパンで 道連れですか

ドンパチの 前に供給 とどこおる
不安材料 生産やめれ

もうすでに 外交ルート ないのかや
心もとない 心もとない

物価高 どころじゃないよ 欠乏の
リスク含みも 大本営か

肩肘と 虚勢を張って しわ寄せは
弱者に来るの 勘弁願う

反日と 非国民との 類似性

スポーツと ゲームで勝利 味わって

ノーマスク 他県ナンバー 狩っていた

数年前と 戦前もしや

官僚は 無謬性ゆえ あやまらん

ありがたく 恩恵待とう おこめ券

法よりも 力の支配 リアリスト

損得さえも 沽券が大事

やらかして 平常今日に 散るもみじ
のこるもみじも いずれ散るしか

散華など 御免被る 人の常
身を鴻毛に おけるわけない

喜怒カラー 映えとバズりと 別次元

唐楓 だからアカだと 短絡さ

ほにやららら 出待ち柳に 風が吹く

ポイントに 食指動かす デリバリー

ミートスパ 寢床で浮かべ 海老ドリア
どうしたものか いくのいかんの

核兵器 保有を模索 見え隠れ

埋れ木を 目で味わいて いとおかし

道芝を 目で味わいて いとおかし

人為的 イコール欺瞞 はらんでる

慰霊祭 じょうよまんじゅう 白でしょう

あんまんの ような小麦の 可能性

先生に 付け届けする 伝統で
どの分際で なにをけがすか

トランプに そんなことより 言ったらば

ハレとケの　ケが枯れぬよう　淡々と
ダイハツタント　たんとおたべよ

減らず口　叩いていると　叩かれる

穴開きは　アナーキーでは　ないとする
するとなっちゃん　アナーキストに

もう一寸　まだ言いたがる　人の常
それより常子　再放送か

すわ配置 ハイチ紛争 勃発か

白いもの ミミリで刈る プロの技

紅白の わけがなからう 母義子

ふくらまし 色を着けます プロの技

柿くへば 医者青くなる 本当か

駅地下に 資材置き場の A列車

さあはやく 福神漬けで 一句だね
それにつけても ニツキ克秀

舞踏派と 武闘派が舞う 大和路よ
こくりうなづく バンビの使い

天井の 低い鐘楼 かきくけこ
料理しなはれ さあさしすせそ

東山 西大谷の 藤と香
あまり行かない 父ではあった

令和七年 十二月

アツサリと ポチれないのは 思慮うかも

忠節は 信長公か 天皇か
時は映れど 平目の海よ

モンキーが 先着します それだけさ
今朝の出来事 明後日加工

えんじとは 和製英語で なんだっけ
園児じゃなくて 臙脂ですって

寅に鷹 産んだのまさか 鳶かな
廊下を駆ける 人に囲まれ

秋と書き トキと読ませる 人もいる

朝ドラは 観たのだろうか ドラえもん

衆目を 一致させたい 多様性

実物は 大きく感じ 何センチ

少々の 濁り恋しき 広瀬川

泥かぶり 要因される 要員か
事実だなんて どこ吹く風よ

いくらでも 因果関係 洗ってよ
サンドバッグの ああ砂時計

かのような お見立て文化 いとおかし
イメーヂありき さあ明治の日

かのような お見立て文化 いとおかし
イメージありき さあ明示の日

曖昧で グレーゾーンで 中間で
貸し借りじゃんとか ジャイアンつよし

リバイバル バージョン変えて 新劇か
進撃でない ないない尽くし

低温と 雪が降るのも 駄洒落かな
明治は遠く チョコは近くに

見解を 質すとすぐに 喧嘩だと

報道の バラエティー化が ドラマ化へ
良しとするのか もうよしとくれ

子の振りを するってえと 江戸っ子か
そんなことより 文明開化

タッチの差 ゴールインする 瓜二つ

コミユカと 関係性の パーティーよ
政党だもの 正当だわさ

寄せる波　大磯小磯　よんでない

大納言　小豆島には　二十四の
四の五の云わず　浮かぶ浮かばん

水道と　ガスの配管　繋げれん

雪どけの　味はしないと　思われる
そんなことより　ぬくぬく音頭

明治屋で また膨らます イメージ屋
千葉の東金 ああ求名とか

理屈では 図りしねない 情の報

理屈では 計り知れない 情の報

ホルンかな 音色こだます 鱒釣りか
ダースベーター 十二個だから

デジタルに 依存した先 籠の鳥
既になつてゐる 林檎をタップ

読む前に インテリジェンス 付加しいも

葉を飛ばす 為に吹くかな 風なりや

司馬史観 教科書よりも 面白い

念押しと くすぐりで浮く 3ヤード

それにつけても 背中のイボよ

あれをやり これをやるのも ひと苦勞
もっともっとに ごもっともとか

身を縮め 口をすぼめて ゆく冬ぞ

いうほど言葉 通りでもなく

いうとゆう どっちなんだい 難題か

使い分けます 益荒男だもの

ニンゲンは リスとウサギに 服着せる

鳥打ち帽は なんてござった

役に立つ 成果の有無に こだわって

てんで話に なるもならんも

あとがき

令和六年五月から令和七年十二月の
川柳短歌作品をまとめることが出来ました。
ライフワークとして続けていきたいです。

令和八年 新春